

**令和6年度
さかいで131おとめ隊
活動報告書**

令和7年3月17日

目 次

1. 今年度の目標	3
2. 活動体制	3
3. 活動内容	4
・ 令和 6 年度活動一覧 ・ 新規採用職員研修 ・ 避難所担当職員研修 ・ リレー防災みらいサロン「防災キャンプ」 ・ 令和 6 年度防災フェスタ「おとめ隊からの挑戦状！」 ・ 広報活動 ・ 各種団体における講演・取材	
4. 成果・課題等	12
5. 来年度の目標	12

1. 今年度の目標

- ・ 10年間の活動のなかで積み重ねてきたノウハウをメンバーが習得するとともに、より多様な視点を持ち、職員や市民に対し効果的な普及・啓発を行う。
- ・ 一人ひとりが日頃から防災に関心を持ち、必要な知識を身に付け、坂出市職員全員が防災に意欲的になるような職場環境づくりを行う。

2. 活動体制

第11期生 メンバー構成 ⇒ 4人交代

No.	担 当	所 属	氏 名	備 考
1	リーダー	健康福祉部ふくし課	田中 美統子	
2	サブリーダー	健康福祉部ふくし課	末澤 奈菜子	
3	〃	健康福祉部けんこう課	藤田 沙世	新規
4	メンバー	健康福祉部けんこう課	松浦 悠子	新規
5	〃	市民生活部人権課	山田 知恵	
6	〃	市民生活部税務課	上乃 紀子	
7	〃	健康福祉部ふくし課	横田 幸祐	新規
8	〃	市立病院庶務課	三枝 梨奈	
9	〃	健康福祉部ふくし課	三好 尚紀	新規
10	〃	総務部総務課	小野 詩織	
11	〃	総務部危機管理課	松岡 未祥	事務局

3. 活動内容

令和6年度活動一覧

活 動	日 程	主な内容	備 考
任命式 第1回会議	R6.5.23	・リーダー、サブリーダーの選出 ・活動方針や年次計画の決定	
第2回会議	R6.6.4	・年度目標の決定 ・今年度の活動内容について ・新規採用職員研修について	
第3回会議	R6.6.28	・新規採用職員研修について	
新規メンバー研修	R6.7.2	・香川県防災センター体験	
第4回会議	R6.7.16	・新規採用職員研修について	
職員防災研修 (新規採用職員)	R6.7.24	・新規採用職員研修 市役所職員の備え	参加者：21名
第5回会議	R6.8.20	・新規採用職員研修について（反省） ・避難所担当職員研修について	
第6回会議	R6.9.9	・避難所担当職員研修について ・避難所運営ゲーム HUG	
第7回会議	R6.10.18	・避難所担当職員研修について	
職員防災研修 (避難所担当職員)	R6.11.7	・避難所担当職員研修 坂出市避難所運営マニュアルについて 避難所運営ゲーム HUG	参加者：17名
第8回会議	R6.11.12	・避難所担当職員研修について（反省） ・防災フェスタについて ・職場の備え選手権について	
リレー防災みらいサロン 防災キャンプ	R6.11.23	・防災食調理体験	
第9回会議	R6.12.3	・防災フェスタについて ・職場の備え選手権について	
防災講演 (坂出市商工会議所青年部主催)	R7.1.15	・クロスロード ・新聞紙スリッパ	
防災フェスタ	R7.1.26	・体験型131（ぼうさい）ゲーム 「おとめ隊からの挑戦状！」	

活 動	日 程	主な内容	備 考
おとめ隊の日	R7.1.31	・職員へ啓発（インフォメーション掲載）	
防災講演 （徳島県私立幼稚園・認定こども園 PTA 連合総会）	R7.2.20	・災害に備えて	
第 11 回会議	R7.2.27	・令和 6 年度活動反省 ・次年度の課題検討	
市長報告	R7.3.15	・令和 6 年度活動報告	

新規採用職員研修（R6.7.24）

平成 28 年度から継続し、新規採用職員を対象に職員としての災害時における対応や職場における備えについて伝えることで、災害時の対応力の底上げを図ることを目的とし、研修を実施しました。令和 2 年度から取り入れたグループワークにおいては、活発な意見交換があり、自分に必要なものを考え、実際に備えることまでつなげることができました。

○ 対 象

令和 6 年度新規採用職員（市立病院（庶務・医事課除く）・消防除く）

○ 内 容

- ・南海トラフ地震について（坂出市の被害想定）
- ・坂出市における過去の台風および集中豪雨の対応
- ・実際の備えの紹介
- ・職員用 1 3 1（ぼうさい）カード（参集基準の確認）
- ・グループワーク（自分に必要な備えについて）



研修後のアンケートの一例

今まで防災について講義を聞いても、いつか準備しようと思って実際行動にはなかなか移せていなかったが、今回は実際にあった先輩方の話を聞くことができ、自分に関係があると自覚することができたため、本当にはやめに準備をしたいと感じた。

避難所担当職員研修（R6.11.7）

避難所運営マニュアルに基づき、大規模災害時の避難所について、避難所担当職員に周知することを目的として実施しました。今年度も昨年度同様、避難所運営ゲーム HUG の実践と組み合わせることで、より状況を想像しやすく、理解を深められました。

○ 対 象

避難所担当課職員

○ 内 容

- ・避難所運営における初動対応等の例
- ・避難所運営ゲーム HUG
- ・活動班ごとの説明
- ・振り返り（HUG の反省）

研修後のアンケートの一例

様々な立場の人がいて、様々な配慮が必要だということに気づかされた。



リレー防災みらいサロン「防災キャンプ」(R6.11.23)

中讃地域防災・減災・縮災ネットワークプロジェクトと坂出市が共催した、多種多様な組織・団体の交流の場を増やし、繋がり、知り合う機会を増やし、災害時に必要な知識を楽しみながら習得することを目的として実施されたリレー防災みらいサロン「防災キャンプ」に参加しました。

防災クイズや非常用持ち出し袋の中身を考えるワークショップ、間仕切りテントの設置、簡易トイレの使いかたなど、避難所生活に関する知識を楽しみながら習得するイベントを通じて、おとめ隊メンバーもあらためて勉強することができました。

おとめ隊では、防災食調理体験と題し、調理用ポリ袋を使用してつくる蒸しパンと、じゃがりこでつくるポテトサラダを作る体験を担当しました。「災害時にあたたかくておいしいごはんを食べることができる」ということの大切さや、防災を日常に取り入れることの大切さを実感していただけたイベントとなりました。



令和6年度 防災フェスタ

体験型131（ぼうさい）ゲーム「おとめ隊からの挑戦状！」

11回目となる防災フェスタを今年度は1月31日「おとめ隊の日」付近の日曜日である26日に勤労福祉センターで開催しました。こどもから大人まで、幅広い世代の市民のかたにご参加いただき、楽しみながら防災について学んでいただけるイベントとなりました。今後も継続して開催したいと考えております。

- ・ 日 時：令和7年1月26日（日）10：00 から 12：00
- ・ 場 所：勤労福祉センター
- ・ 内 容：
 - 防災のお話
 - ゲーム
 - ・ シーン1：正しい避難行動クイズ
 - ・ シーン2：津波発生時の避難場所クイズ
 - ・ シーン3：新聞紙スリッパの作成&使用
 - ・ シーン4：災害用伝言ダイヤル
 - ・ シーン5：簡易トイレ
 - ・ シーン6：手洗いチェッカー
 - ゲーム解説

災害時に正しい行動がとれるかを試す
体験型の防災ゲームをクリアして
防災マスターを目指しましょう！

参加無料

おとめ隊からの挑戦状！

令和6年度
防災フェスタ

令和7年1月26日（日）

時 間 10：00 ～ 12：00
（9：30より受付開始）

場 所 勤労福祉センター
（坂出市寿町一丁目3番5号）

申込について（要申込）

対 象：防災に興味のある家族・友人の
2～4人チーム（7歳以下は保護者同伴）

定 員：5チーム

申込方法：右記二次元バーコードより参加申込フォームに
アクセスいただき、必要事項を入力の上
お申し込みください。
令和7年1月6日（月）9：00より受付開始

注意事項：申し込みは先着順とし、定員に達し次第締め切ります。▲参加申込フォーム

問合せ：坂出市危機管理課（TEL 0877-44-5023）
主 催：さかいで131（ぼうさい）おとめ隊（坂出市職員有志による防災チーム）



市広報誌「広報さかいで」掲載

5月号から3月号の「防災ははじめの一步」をおとめ隊にて担当しました。
家庭において、防災を日常に取り入れてもらえるような内容を情報発信しました。

防災ははじめの一步 vol.143 市危機管理課 (☎44-5023)

普段から災害に備える習慣をつけましょう！

新年度が始まり、1カ月が経ちました。進学や異動などで、ご自身やご家族で生活圏が変わったかたも多いのではないかと思います。生活環境が変わった場合は、その地域や場所の災害について確認し、災害発生に備えましょう。

発生する可能性がある災害は地域によって違い、対応方法も変わってきます。坂出市では、台風や豪雨などの水害や、最大震度6強の揺れと津波の発生が予想されている南海トラフ地震などの災害が起こる危険があります。

ハザードマップで危険な場所や避難する場所を確認したり、家族と集合する場所を決めたりなど、どの場所においても最低限の生活は自分で守れるよう、普段から災害に備える習慣をつけておきましょう。



さかいで131おとめ隊

● 防災ひとくちメモ (FM SUN 76.1MHz) 今月の放送は1日・15日(水)12:07～、19:07～

防災ははじめの一步 vol.144 市危機管理課 (☎44-5023)

大雨に備えて、事前の備えの確認をしておきましょう

6月から秋にかけては大雨や台風などによる水害や土砂災害が発生しやすい時期を迎えます。もし自分が避難しなければならない状況になったとき、正しく行動することができますか？

○どこに避難しますか？

あらかじめどこに避難するか確認しておきましょう。災害の種類によって開設される避難所が異なる場合があるので注意が必要です。

○いつ避難しますか？

避難情報には、災害の恐れの高まりに応じて分類された5段階の警戒レベルがあります。ご高齢のかたや避難に時間がかかるかたは警戒レベル3で避難です。警戒レベル4になると全員避難しなければなりません。

その他にも、非常時の持ち物を準備することや、連絡手段を確認しておくことも重要です。もしもの時に備えてご家庭で話し合っておきましょう。



さかいで131おとめ隊

● 防災ひとくちメモ (FM SUN 76.1MHz) 今月の放送は5日・19日(水)12:07～、19:07～

防災ははじめの一步 vol.145 市危機管理課 (☎44-5023)

正確な情報をいち早く入手しよう！

災害時の不安を少しでも和らげるために、自分がどのような方法で情報を収集するかあらかじめ確認しておきましょう。

○同報系防災行政無線

市が発する防災情報を屋外スピーカーなどを通して市民の皆さんにお届けするシステムです。放送内容は、防災行政無線テレホンサービス☎0877-85-6131で再確認できます。ぜひアドレス帳に登録しておきましょう。

○ラジオ

停電時に防災グッズとして必須のラジオ。普段から使い方をマスターしておきましょう。また、スマートフォンアプリ「Radimo (レディモ)」を活用すると、エフエム・サン株式会社 (FM SUN 76.1MHz) が放送する坂出市の災害情報を視聴することができます。災害時の情報収集にぜひ役立てください！



さかいで131おとめ隊

他にも、市のホームページや公式X (旧Twitter)、公式LINEなどさまざまな方法で情報を発信しています。災害時に慌てることがないよう、情報収集の手段をいくつか用意しておきましょう。



Radimoについてはこちらをご覧ください。

● 防災ひとくちメモ (FM SUN 76.1MHz) 今月の放送は3日・17日(水)12:07～、19:07～

防災ははじめの一步 vol.146 市危機管理課 (☎44-5023)

真夏の停電 どうする？ 熱中症対策をしよう！

夏は、台風や大雨などの影響で特に停電になりやすい季節です。停電になると冷房器具が使えないので、熱中症が心配です。今回は、熱中症対策を紹介しますので、ぜひ参考にしてください。

○熱中症対策

1. 通気性の良い、涼しい服を着ましょう。
2. こまめに水分を取るようにしましょう。
3. ぬれタオルを体に当てて、うちわなどであおぎましょう。首、脇の下、足の付け根などを冷やすと効果的です。

○事前にできる対策

1. ペットボトルに水を入れ、冷凍しておきましょう。凍っている間は体を冷やし、溶けた後は飲料水として使うことができます。
2. 保冷材や冷却シートなどの冷却グッズを用意しておきましょう。



さかいで131おとめ隊

● 防災ひとくちメモ (FM SUN 76.1MHz) 今月の放送は7日・21日(水)12:07～、19:07～

防災ははじめの一步 vol.147 市危機管理課 (☎44-5023)

使ってみよう、「キキクル」！

キキクル (大雨・洪水・雪害の危険度分布) とは、気象庁が提供するサービスです。大雨による災害発生危険度を、インターネットを通じてリアルタイムで確認することができます。強い雨が降ったとき、土砂災害や浸水、洪水などの災害が起こる危険度が5段階の色でマップ上に表示されます。また、数時間後の危険度も予測しているため、避難すべきかどうか迷っているときの判断材料としても役に立ちます。キキクルを活用することで、被害をあらかじめ予測し、軽減することが可能となります。

大雨警報が発表されたときや強い雨が降っているときに、キキクルを使ってみましょう。



キキクル (気象庁)



さかいで131おとめ隊

● 防災ひとくちメモ (FM SUN 76.1MHz) 今月の放送は4日・18日(水)12:07～、19:07～

防災ははじめの一步 vol.148 市危機管理課 (☎44-5023)

災害時の連絡方法を確認しよう！

災害が起こると、電話はつながりにくくなります。事前にどのように連絡を取り合うか家族で決めておきましょう。また、1つの方法が使えなかったときのために、いくつかの連絡方法を準備しておくことが安心です。

災害用伝言ダイヤル171

「171」に電話することで、自宅などの電話番号宛てにメッセージを録音したり、再生したりできます。

災害用伝言板

インターネットを利用して、メッセージを登録・確認ができます。

三角連絡法

電話がかかりやすい離れた場所に住む家族や親戚を連絡先に決め、そこを中継点にして家族の安否や連絡をとる方法です。

SNS

LINEやXなどのSNSも災害時には安否確認の手段として有効です。

災害用伝言ダイヤルと災害用伝言板は、毎月1日・15日が無料体験日となっていますので一度使い方を確認しておきましょう。



さかいで131おとめ隊

● 防災ひとくちメモ (FM SUN 76.1MHz) 今月の放送は2日・16日(水)12:07～、19:07～

防災ははじめの一步 vol.149 市危機管理課 (☎44-5023)

乳幼児がいる家庭の防災対策

子どものいるご家庭は、どの程度防災対策ができていますか。特に乳幼児がいる家庭では、災害時の対策がより一層重要になります。

乳幼児がいる世帯は、非常用持ち出し袋に名前を記入し、3日分程度のおむつやおしりふき、着替え、おもちゃ、常備薬、母子手帳 (健康保険証) の写しを用意しておきましょう。また、避難所では母乳が出ない場合もあるため、ミルクセットを用意しておき、普段から飲めるよう練習しておくとういでしょう。離乳食も食べ慣れておくとういことも大切です。ミルクや離乳食など賞味期限のある飲食物は、定期的に期限を確認しましょう。賞味期限が到来する前に飲食・補充するローリングストック法による備蓄がおすすめです。また、普段使い慣れたおもちゃを用意しておく、子どものストレスを軽減してくれます。



さかいで131おとめ隊
※令和6年度から男性職員が加わりました。

● 防災ひとくちメモ (FM SUN 76.1MHz) 今月の放送は6日・20日(水)12:07～、19:07～

防災ははじめの一步 vol.150 市危機管理課 (☎44-5023)

「いつも」の習慣が「もしも」に役立つ！

全国各地で地震や風水害などの災害が発生しており、災害への危機感が高まっているのではないのでしょうか。そこで、本年2月に開催した坂出市男女共同参画推進委員の講師「歌う防災士 しほママ」こと防災・安心プランナーの柳原志保さんの防災への取り組みについて、改めてご紹介いたします。しほママが呼びかけたのは、「いつも」の習慣の大切さです。「大災害ではみんなが被災者になる。支援者は被災者。だから、まずは一人一人が自分でできることは自分でやってほしい。『生きる力』をどんな立場の人も身に付けてほしい。」と伝えました。

- ①自分のできることは自分から
- ②コミュニケーションは自分から
- ③片付けと整理整頓
- ④規則正しい生活リズムを
- ⑤前向きにトライ！

普段の生活の中で「生きる力」を高めることは、実は災害が起きた時にも役に立ちます。こんな心がけなら、防災にトライしやすいのではないのでしょうか。



2月の講演会の様子

● 防災ひとくちメモ (FM SUN 76.1MHz) 今月の放送は4日・18日(水)12:07～、19:07～

防災ははじめの一步 vol.151



市危機管理課 ☎44-5023

ラップ防災「ラップの活用7選」

各家庭にはある食品用ラップ。災害時に大変便利と聞いたことがありませんか。今回は、災害時の食品ラップの使い方を紹介します。

- 1 水の節約 食器にかぶせると、食器を洗わずに繰り返し使えます。
- 2 スポンジの代用 くしゃくしゃに丸めるとスポンジの代わりに。少量の洗剤でよく泡立ち、効率よく汚れを落とすことができます。
- 3 ひもの代用 ラップを適当な長さで切って、くると丸めるとひもの代用。さらに三つ編みすると強度が増します。
- 4 伝言板 ラップをドアや窓ガラスに貼り、油性ペンで書き込めば伝言板に。ホワイボード用のペンだと何度も書き込み消したりできます。
- 5 傷の応急処置 傷口を洗い流しラップで巻くと、傷口を保護できます。
- 6 臭い対策 災害時にごみが収集されるまで時間がかります。臭いが気になるゴミをラップで包むと、臭いが漏れるのを防ぐことができます。
- 7 防水対策 雨のときなどに、濡れると困るものに巻いておくと安心です。

ラップ一つでこんなにたくさんのお使い方ができます。ぜひ防災グッズに入れておいてください。



さかいで131おとめ隊

● 防災ひとくちメモ (FM SUN 76.1MHz) 今月の放送は8日・22日(水) 12:07~、19:07~

防災ははじめの一步 vol.152



市危機管理課 ☎44-5023

非常用持ち出し袋、準備していますか？

災害はいつどこで起こるか分かりませんが、事前に非常用持ち出し袋を用意しておくことで、万が一の際にもすぐに避難行動へ移ることができます。非常用持ち出し袋は、両手が自由になるリュックタイプがおすすめです。防災グッズの詰め方にもポイントがあります。例えば、防寒着などの衣類やタオルなどはリュックの下段に入れて、缶詰や飲料水などの重いものを上段に入れることで、肩に近くなり、下に引っ張られる感覚を和らげることができ、疲労感を軽減することができます。腰への負担もかきにくくなり、腰痛を防ぐこともできます。避難の際、長い距離を歩く場合もあるため、少しでも負担を減らすことが大切です。また、常備薬など、すぐに必要になる可能性があるものは、取り出しやすい位置に収納しておきましょう。

非常用持ち出し袋が完成すると「これさえ持っていれば何とかなる」という自信と安心感が高まりますが、季節物の入れ替えや非常食の交換など、定期的な見直しを欠かさず更新し続けていくことが大切です。



さかいで131おとめ隊

- Jアラートによる全国一斉情報伝達訓練放送 2月12日(水) 11:00ごろ 防災行政無線を使用した訓練放送を流し、全国瞬時警報システム(Jアラート)の起動確認を行います。
- 防災ひとくちメモ (FM SUN 76.1MHz) 2月5日・19日(水) 12:07~、19:07~放送

防災ははじめの一步 vol.153



市危機管理課 ☎44-5023

非常用持ち出し袋の中身を考えてみましょう

令和6年11月23日に、交流の里おとしにて「防災キャンプ」を実施しました。非常用持ち出し袋の中身を考えるワークショップでは、42枚ある防災グッズカードの中から自分や自分の家族に必要なと思うものを10枚選び、さらにその中から一番大事だと思うものを1つ選んで、なぜそれが必要なのかを考えると時間がかかりました。水を飲まないと命に関わるため飲料水を遠くグループが多かったですが、他にも薬・家族の写真・お金や預金通帳などを選ぶグループもありました。

非常用持ち出し袋に入れておいた方がよいものはたくさんありますが、あれもこれも入れることはできません。また、人によって毎日の生活に必要なものは違います。自分が必要だと思うものを考えて、非常用持ち出し袋を用意しましょう。家族で手分けして非常用持ち出し袋を備えれば、多くの防災グッズを備えることもできます。ぜひ、ご家族で考えてみてください。



防災キャンプの様子

● 防災ひとくちメモ (FM SUN 76.1MHz) 3月5日・19日(水) 12:07~、19:07~放送

FMSUM「KIKI チャンネル」出演



10月・1月
出演

県広報誌「THE かがわ」掲載

防災 10

避難生活を乗り切るために

～坂出市の防災キャンプをレポートします！～

1月号

11月23日(土・祝)に、坂出市で開催された、リレー防災みらいサロン「防災キャンプ」に参加しました。坂出市の小学生と保護者16組が参加し、災害時に必要な知識を、親子で楽しみながら習得しました。

- 1 非常食を作って食べよう！ 防災食調理体験
- 2 通せんぼでできる楽しみづくり
- 3 家族の備品を考えるワークショップ

間仕切りテントを組み立てよう！

防災士の方と一緒に組み立て、親子でテントの中に入り、避難所の生活スペースを確認しました。解体時には子どもたちもすっかり手慣れた様子で、頼もしい！

問い合わせ先 坂出市危機管理課 ☎0877-44-5023

簡易トイレってどんなもの？

生活に欠かせない簡易トイレの使い方を体験！凝縮剤があとという間に固まることに興味津々な様子でした。

地域の防災活動に参加してみよう！

地域のつながりや訓練の経験が、災害時に役立ちます。防災関連イベントや自主防災組織の活動に参加して、楽しく防災に取り組みませんか？

詳しくは各市町の防災担当部署にお問い合わせください。

問い合わせ先 県危機管理課 ☎087-832-3242

さかいで131おとめ隊

「香川県公式防災LINE」に登録して楽しく災害対応力をアップ！

かがわ県民防災意識向上プロジェクト

かがわ防災チャレンジ!!

コードを読み込んでポイントゲット！

※ポイント付与期間1月5日まで

1月号

防災 11

みんなに優しい避難所を目指して

～要配慮者への理解を深めよう～

2月号

避難所には「要配慮者」が必ずいます。災害時でも、お互いに気持ちよく過ごすための工夫や備えについて、さかいで131(ぼうし)おとめ隊の松岡未祥さん、田中美穂さん、三好尚紀さんに伺いました。

「要配慮者」ってどんな人？

災害時に手助けが必要な人たちのことです。人によって困りごとはさまざま。一人一人のニーズに応じた支援・対応が必要です。

避難生活上の困りごとの例

- 必要な情報がない
- 適切な行動がとりにくい
- 自分の気持ちや状況をうまく伝えられない

例えは 外見では分かりづらい要配慮者には

災害時用パンダナ

身に付けて、障害の有無や支援が必要かどうかを周囲に知らせます。

例えは 口頭でのやり取りが難しい要配慮者には

災害時コミュニケーション支援ボード

簡単な日本語とイラストで、意思疎通を助けます。

要配慮者との避難所生活では、相手の立場に寄り添い、お互いに思いやりある気持ちが必要です。要配慮者も一緒に地域の防災活動に参加するなど、日ごろから交流して、支援を確認しあひましよう。

問い合わせ先 県危機管理課 ☎087-832-3242 坂出市危機管理課

各種団体における講演・取材

坂出市商工会議所青年部「風会議」(R7.1.15)

坂出市商工会議所青年部「風会議」に参加しました。

防災ゲーム「クロスロード」では、究極の二択に参加者から戸惑いの声や表情が見受けられましたが、多様な意見が飛び交い、日頃からの備えの重要性について再認識することができました。

また、新聞紙スリッパ作り体験や、「共助」「公助」の観点からそれぞれの立場で災害発生前後にどう動くことができるか、必要なことは何か活発に意見交換するグループワークなどを通じて、おとめ隊として、市職員としてなにができるか考えることができました。



KBN「いきいきワイド」(R6.8.30)



その他

- ・刈谷市議会企画総務委員会 行政視察(R6.10.17)
- ・鹿児島県薩摩川内市議会 行政視察(R7.2.3)
- ・徳島県私立幼稚園・認定こども園
PTA 連合总会(R7.2.20)
- ・西日本放送「波のりラジオ」(R7.3.8)

4. 成果・課題等

今年度の大きな成果としては、新たに男性メンバーが加入したことです。これまで、女性メンバーのみで活動していましたが、より多様な視点を取り入れるため、今年度より新たに2名男性メンバーが加入しました。これまでの活動で考えてきた「女性視点の防災」を職員研修や市民の皆さまへの啓発活動などにおいて、どう伝えれば女性にも男性にも伝わりやすいかなどを考え、ブラッシュアップして実施したことにより、昨年より充実した内容で実施することができました。研修後やイベント実施後のアンケートでも多くの学びがあったと好評を得ています。

おとめ隊の活動も12年目を迎え、活動の幅が広がっているのを感じていますが、活動の目標を明確にし、通常業務の負担にならないよう調整しながら、メンバー自身も「防災」に関する知識を深め、おとめ隊だからこそできる研修や啓発活動を効率よく行えるよう体制を整備したいと考えております。

5. 来年度の目標

今後も「日常生活に防災を取り入れる」ことを念頭に、職員や市民に対して啓発活動を継続して行っていきます。また、継続して実施していることに加え、自分たちで必要なこと、やりたいことを考え、実施まで行うことにより、より充実した活動にしていきたいと思います。

- ・避難所運営マニュアルの修正および啓発
- ・職員、市民への啓発活動（さかいで131カード、131 CHECK LISTの普及）
- ・防災フェスタ「おとめ隊からの挑戦状！」の実施